

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-519593 (P2020-519593A)

【公表日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2020-026

【出願番号】特願 2019-561320 (P2019-561320)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 23/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 23/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 75 mg / mL の薬物であって、ピバカイン、ロピバカイン、メピバカイン、レボピバカイン、プロカイン、クロロプロカイン、エチドカイン、プリロカイン、又はテトラカインから選択される前記薬物を含み、かつ、  
少なくとも 1 種の強酸と少なくとも 1 種の弱酸とを含む、3 種又は 4 種以上の酸の組合せを含む、  
水性組成物。

【請求項 2】

3 種又は 4 種以上の酸の組合せが、酢酸、リン酸、塩酸、及び硫酸からなる群から選択される、請求項 1 に記載の水性組成物。

【請求項 3】

3 種又は 4 種以上の酸の組合せが、酢酸、リン酸、塩酸、硫酸、及びクエン酸からなる群から選択される、請求項 1 に記載の水性組成物。

## 【請求項 4】

3 種又は 4 種以上の酸の組合せが、4 種又は 5 種以上の酸の組合せ、例えば、4 種の酸の組合せである、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の水性組成物。

## 【請求項 5】

薬物が、遊離塩基形態である、請求項 1 に記載の水性組成物。

## 【請求項 6】

薬物が、ブピバカイン又はロピバカインである、請求項 1 に記載の水性組成物。

## 【請求項 7】

薬物が、ブピバカインであり、3 種又は 4 種以上の酸の組合せが、モル比が 6 : 1 : 1 : 2 の硫酸、酢酸、リン酸、及び塩酸から本質的になる、請求項 6 に記載の水性組成物。

## 【請求項 8】

薬物が、ロピバカインであり、3 種又は 4 種以上の酸の組合せが、モル比が 6 : 1 : 1 : 2 の硫酸、酢酸、リン酸、及び塩酸から本質的になる、請求項 6 に記載の水性組成物。

## 【請求項 9】

5 ~ 5.6 の pH である、請求項 1 に記載の水性組成物。

## 【請求項 10】

3 種又は 4 種以上の酸の組合せが、硫酸 : 酢酸 : リン酸 : 塩酸の比が 6 : 1 : 1 : 2 のモル比である 4 種の酸を含む、請求項 2 に記載の水性組成物。

## 【請求項 11】

1.5 ~ 1 の薬物の酸に対するモル比をもたらす、請求項 1 に記載の水性組成物。

## 【請求項 12】

少なくとも 1 種の弱酸が、薬物の pKa 値より少なくとも 2 低い pKa 値であることを特徴とする、請求項 1 に記載の水性組成物。

## 【請求項 13】

少なくとも 1 種の強酸が、少なくとも 1 種の弱酸の pKa 値より少なくとも 2 低い pKa 値であることを特徴とする、請求項 12 に記載の水性組成物。

## 【請求項 14】

少なくとも 1 種の強酸が、塩酸、臭化水素酸、硝酸、硫酸、メタンスルホン酸、エタンスルホン酸、ベンゼンスルホン酸、及びトルエンスルホン酸からなる群から選択される、請求項 13 に記載の水性組成物。

## 【請求項 15】

請求項 1 に記載の水性組成物を充填した薬物注入ポンプ。